

日本福祉大学付属高等学校入学試験における 新型コロナウイルス感染症への対応

入試を迎えるにあたって心がけていただきたいこと

普段の生活

手洗い・手指の消毒、マスクの着用、咳エチケット、人との距離の確保、3つの密(密集・密接・密閉)の回避。

体調管理

バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など



- **体温測定** ※入試の7日程度前から
朝などに体温測定を行い、体調の変化がないかを確認するようにしてください。
- **症状がある場合の受診**
発熱・咳などの症状がある場合は、あらかじめ医療機関を受診し適切な治療を受けてください。

入試当日の注意

マスクの着用

常時マスクを着用してください(昼食時以外)。
※フェイスシールド、マウスシールドのみは不可
※マスクを常時着用することが難しい事情がある人は、中学校に相談してください。

服装

換気のために窓を開けるので、寒いときは、試験会場内でも防寒着を着用することができます。
※中学校でふだん着用しているジャージやウインドブレーカー、コートなど

手指の消毒

試験会場の出入口付近に置いてあるアルコールで手指を消毒してください。
※アルコールが使えない人は、せっけんで手洗いしてください。なお、手洗い直後は、アルコール消毒する必要はありません。

当日の体温測定

当日の朝、家で体温を測定してください。

※熱があるときは、中学校に連絡してください。

昼食

自分の席で、前を向いて食べてください。マスクをしていないときは、他の受験生とは会話をしないようにしてください。

休憩時間の過ごし方

他の受験生との会話や接触は、できるだけ控えてください。
トイレを利用するときは、案内表示に従い、できるだけ混雑を避けてください。

当日の受験の可否等について

★該当する場合は、中学校に連絡し、相談してください

次のどれかに当てはまる人は、当日は受験することができません。中学校を通じて、追試験の手続きをしてください。

- 37.5℃以上の熱がある人
- 濃厚接触者に該当し、かつ、PCR等の検査結果が陰性であることが明らかでない人
- 新型コロナウイルス感染症の陽性者と判定されている人

○ 別室で受験できる場合 ○

- 熱があるが、37.5℃未満の人
- インフルエンザと判定されているが、PCR等の検査結果は陰性の人
- 濃厚接触者に該当しているが、PCR等の検査結果が陰性で無症状の人
- マスクを常時着用することが難しい事情がある人

入学試験（推薦入試・一般入試）を受験できなかった場合

・ 推薦入試が受験できなかった場合

本校の推薦入学試験【1月27日（水）】を受験できなかった場合は、2月3日（水）に実施する「推薦入試第1回追試験」を受験することができます。2月3日（水）の「推薦入試第1回追試験」を受験できなかった場合に限り、2月13日（土）に実施する「推薦入試第2回追試験」を受験することができます。

・ 一般入試が受験できなかった場合

本校の一般入学試験【2月3日（水）】を受験できなかった場合は、2月13日（土）に実施する「一般入試第1回追試験」を受験することができます。2月13日（土）の「一般入試第1回追試験」を受験できなかった場合に限り、3月23日（火）に実施する「一般入試第2回追試験」を受験することができます。

Q & A

Q 入試当日の朝に、熱があったり、咳が出ていたりしたら、どうすればよいですか？

A 体温を測った上で、すぐに中学校に連絡し、相談してください。もし、当日受験できなくても、追試験を受験することができます。

Q 高等学校では、どのような感染防止対策が取られますか？

A 座席間の距離を1メートル以上（体調不良者の別室は2メートル以上）確保し、換気を十分に行います。また、机や椅子を消毒するなどしています。

お問い合わせ先

日本福祉大学附属高等学校 渉外部

電話：0569-87-2311